

高齢者虐待防止のための指針

一般社団法人横浜市港南区医師会

港南区医師会訪問看護ステーション

港南区医師会居宅介護支援ステーション

1. 基本指針

利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、利用者に対する虐待の禁止、虐待の予防及び早期発見のための措置等を定め、全ての職員がこれらを認識し、本指針を遵守することに努めることとする。

2. 高齢者虐待の定義

(1) 身体的虐待

暴力的行為等で利用者の身体に外傷や痛みを与えるまたはその恐れのある行為を加えること。また、正当な理由なく身体を拘束すること。

(2) ネグレクト

意図的であるか、結果的であるかを問わず、行うべきサービスの提供を放棄又は放任し、利用者の生活環境や身体・精神状態を悪化させること。

(3) 心理的虐待

脅しや侮辱等の言葉や威圧的な態度、無視、嫌がらせ等によって利用者に精神的、情緒的な苦痛を与えること。

(4) 性的虐待

利用者にわいせつな行為をすること、または利用者にわいせつな行為をさせること。

(5) 経済的虐待

利用者の合意なしに財産や金銭を使用し、本人の希望する金銭の使用を理由なく制限すること。

3. 虐待防止に係る検討委員会の設置

当事業所は、虐待の防止及び早期発見への組織的対応を図ることを目的に、「虐待防止検討委員会（以下、委員会）」を、定期的開催される運営委員会の中に設置する。なお委員会の責任者は運営委員長とし、虐待防止に関する措置を適切に実施するための担当者は管理者とする。

委員会の協議事項は次のような内容とする。

虐待防止のための職員研修に関すること。

虐待等について、職員が相談・報告できる体制整備に関すること。

虐待予防、早期発見に向けた取り組みに関すること。

虐待が発生した場合に、その対応に関すること。

虐待の原因分析と再発防止策に関すること。

4. 虐待防止のための職員研修に関する基本方針

職員に対する高齢者虐待防止のための研修は、基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するものであるとともに、本指針に基づき虐待防止を徹底する内容とする。研修は年 1 回以上実施する。また、新規採用時には別途虐待防止のための研修を実施する。研修の実施内容については、研修資料、出席者を記録し保存する。

5. 虐待等が発生した場合の対応方法に関する基本方針

虐待が発生した場合は、速やかに市区町村に報告するとともに、その要因の速やかな除去に努める。客観的な事実確認の結果、虐待者が職員であった場合は、役職位等の如何を問わず、厳正に対処する。

緊急性の高い事案の場合は、市区町村及び警察等の協力を仰ぎ、被虐待者の権利と生命の保全を最優先する。

6. 虐待等が発生した場合の相談報告体制

利用者、利用者家族、職員等から虐待の通報を受けた場合は、本指針に従って対応することとする。

利用者の家庭内における高齢者虐待は、外部から把握しにくいことが特徴であることを認識し、職員は日頃から虐待の早期発見に努めなければならない。

7. 虐待等に係る苦情解決方法に関する事項

虐待等の苦情相談については、苦情受付者は受け付けた内容を管理者に報告する。

苦情相談窓口で受け付けた内容は、個人情報の取扱いに留意し、相談者に不利益が生じないように細心の注意を払って対処する。

相談受付後の対応は「6. 虐待等が発生した場合の相談報告体制」によるものとする。

8. 利用者等に対する指針の閲覧

求めに応じていつでも事業所内で本指針を閲覧できるようにする。また法人ホームページにも公開し、利用者及び家族等がいつでも閲覧できるようにする。

附則

本指針は、令和 6 年 4 月 1 日より施行する。